



【News Letter】

2025 年 6 月 4 日

報道関係各位

【ダビンチ SP 手術 100 例到達！】 済生会横浜市東部病院、単孔式ロボット支援手術で 低侵襲・高精度な治療を提供

2025 年 4 月 17 日、社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院（神奈川県横浜市鶴見区、院長三角隆彦 以下、当院）は、単孔式ロボット支援手術「ダビンチ SP（da Vinci SP Surgical System）」による手術実績が、導入から 6 ヶ月余りで累計 100 例を達成したことをご報告いたします。

＜ダビンチ SP とは＞

「ダビンチ SP」は、約 2.5cm の単一の切開部（単孔）からカメラと 3 本のロボットアームを挿入し、自由に操作することができる最新鋭のロボット支援手術システムです。

従来の多孔式と比べて患者の身体的負担をより軽減できることから、低侵襲で整容性の高い治療法として注目されています。

＜対象疾患と実績＞

当院では右記の疾患に対してダビンチ SP 手術を実施し、全体で 100 例に到達しました。各診療科との連携体制のもと、患者さん一人ひとりの状態に合わせた精密かつ安全な治療を追求しております。

前立腺がん	36
腎細胞がん(部分切除)	7
腎細胞がん(全摘)	2
腎盂・尿管がん	1
副腎腫瘍	3
腎盂尿管移行部狭窄症	2
良性子宮疾患	27
子宮体がん	10
肝臓がん	3
大腸がん(直腸)	5
大腸がん(結腸)	9
肺がん	2
縦隔腫瘍	2
合計(2025 年 4 月末現在)	109

＜ロボット手術センター長からのメッセージ＞

ダビンチ SP による手術は、創が少ないという目に見える形のメリットがあります。また、ダビンチ SP はロボットアームが 1 本のため、従来型ロボットにおける 4 本のロボットアーム間の干渉を避けるためのアーム配置の制約がなくなり、アーム自体の可動域も大幅に向上しました。

当初の想定よりも多くの術式でダビンチ SP が利用された結果、この度導入から半年余りで 100 例に到達しました。ダビンチ SP、ダビンチ Xi、それぞれの特徴を活かして最適な治療を提案してまいります。



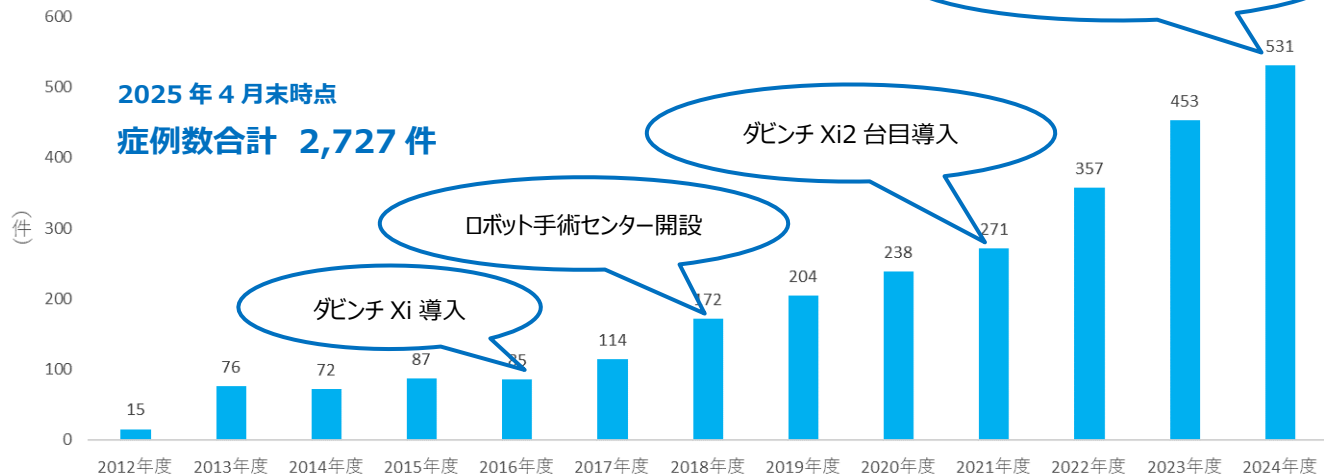
ロボット手術センター長
石田 勝（いしだまさる）

（次頁につづく）



<済生会横浜市東部病院ロボット手術センター紹介>

済生会横浜市東部病院のロボット手術センターは、最新の手術支援ロボット「ダビンチ SP」（単孔式）と「ダビンチ Xi」（多孔式）の2機種を導入し、泌尿器科、外科、呼吸器外科、産婦人科など多岐にわたる領域で手術を実施しています。また、肝胆膵・胃・大腸・食道など、複数の消化器領域において専門医がロボット手術を実施しており、年間症例数も着実に増加しています。また、公式キャラクター「ロボてくん」を通じて、ロボット支援手術を身近な治療の選択肢として広める取り組みも行っています。



対象疾患と実施状況

診療科	対象疾患	術式	対応状況	
			Xi	SP
泌尿器科	前立腺がん	前立腺全摘	○	○
	腎細胞がん	腎部分切除術	○	○
		腎摘除術	○	○
	膀胱がん	膀胱全摘	○	未
	腎盂尿管移行部狭窄症	腎盂形成術	○	○
	腎盂・尿管がん	腎尿管全摘術	○	○
		副腎摘出術	○	○
外科	副腎腫瘍	副腎摘出術 (褐色細胞腫)	○	未
	胃がん	幽門側胃切除 胃全摘	○	○
	大腸がん(直腸)	直腸切除・切断術	○	○
	大腸がん(結腸)	結腸切除術	○	○
	食道がん	食道切除術	○	×
	膵体尾部腫瘍	膵体尾部腫瘍切除術	○	未
	膵頭部腫瘍	膵頭十二指腸切除術	○	×
	肝臓がん	肝切除術	○	○
婦人科	膵・胆管合流異常症	総胆管拡張症手術	○	×
	良性子宮疾患	子宮全摘	○	○
	子宮体がん	準広汎子宮全摘 (骨盤リンパ節郭清術)	○	○
婦人科 泌尿器科	骨盤臓器脱	仙骨固定術	○	未
呼吸器外科	縦隔腫瘍	縦隔腫瘍手術	○	未
	肺がん	肺悪性腫瘍手術	○	○

○：実施済み／未：対応しているが、まだ手術なし／×：予定なし



ダビンチ SP



済生会横浜市東部病院ロボット手術センター
公式キャラクター「ロボてくん」

<本件についてのお問い合わせ先>

済生会横浜市東部病院 広報推進室 担当：波多野・荒木・吉村

電話：045-576-3000

〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉3丁目6-1

Email: koho@tobu.saiseikai.or.jp